

学生座談会で見えてきた若者世代のホンネ 私たち、こんな会社で働きたい!



新しい時代を創っていく若者世代にとって「働きたくなる会社」とは? 『熊本市子育て支援認定企業事例集』の原稿を見ながら現役学生にお話を聞いてみました。

不安定な時代だからこそ、仕事にも“安定”を求める人が周りにも多いような気がする」と話す座談会のメンバー。

今回参加してくれたのは、大学生と高校生の「居場所づくり」の活動を行っている、学生団体「ふらっとプロジェクト」のメンバー

(左から) 熊本学園大学1年/川上大輝さん
熊本大学2年/岡田紗和さん
熊本大学2年/坂下萌さん
熊本県立大学2年/松嶋綾乃さん

— 将来どんな職場で働きたいって思ってる?

(松嶋) 福利厚生も大事だけど、新しいチャレンジをさせてくれて、どんどんスキルアップできる環境に身を置きたいという気持ちの方が強いかな。あと、1on1の制度があるのも重要…というか、絶対必要! 上司や同僚とコミュニケーションが取りやすい関係じゃないと、一緒に仕事できないような気がする。

(岡田) 分かる。あと、個人の意見やアイデアが通りやすく裁量権を持たせてもらえる働き方が理想だな。

(松嶋) ただ、もし将来子育てをすることになったらって考えると、育休の制度とかが整っているだけじゃなくて、それを「取りやすい環境があるのか」ということは気になるかな。

(岡田) そうだね。周りの働くママたちを見ていると、子育てと仕事との両立は本当に大変そうだなって私も感じる。サポートがしっかりしていると、もっとたくさんの女性が働きやすい社会になるんだろうなって。

(坂下) うんうん。イメージなんだけど、子育て支援が充実している会社って、それ以外のところにも「働きやすい環境」が整っているような感じがあるなって思う。

(一同) 確かにね〜。

(岡田) 子育て支援に積極的だとか、福利厚生が充実している会社は、女性役員の割合も多そう。女性目線で働きやすい職場環境を作っている会社は魅力的に見える。

(坂下) あと、ケガや病気で休まなければならない時に保証とか、サポートがあると安心して働けそう。

(川上) 自分としては、まだ全然イメージが湧かないのが正直なところ。男性の育休って聞いても、自分の周りには使っている人なんていないから、どんなものかよく分からなくて。でも、制度について説明してもらえてしっかり理解できたら、「自分も育休取りたい」って思う人は増えそうだなって思う。

— 事例集を見てみてどう思う?

(岡田) 正直、熊本にこんな風に子育て支援をしてくれる企業があるってことに驚いた。地方だと、制度が整っている会社は少ないんじゃないかなって思っていたので。

(坂下) ホントだよな。こんなに支援してくれる会社が熊本に何社もあるんだって知れて、感動しちゃった(笑)。あと、制度があっても理解していないと使えないので、動画やパンフレットとかで分かりやすく教えてくれる仕組みがあるのもいいなって。

(岡田) 「育児短時間」や「子の看護休暇」とか、育児と仕事を両立しやすい制度があって、それを利用しやすい環境があるのはポイント高いよね。不妊治療への補助だったり、有給で生理休暇があったり、キツイ状況へのサポートは嬉しい。

(松嶋) 社内に保育所とか学童みたいな施設がある企業っていいなと思った。待機児童の問題とかってよく聞くから、子どもを預ける場所の心配をしなくていい環境があるのは大きなポイントだと思う。通勤時間も短縮できるし。

(川上) すごいなと思ったのは、SNSを活用して休みが取りやすい仕組みづくりをしている会社。時代に合わせて便利なツールを取り入れていくのがいいなって。将来起業したいと思っているので、自分でも色々工夫をしてみたいって思いました。

(松嶋) ここで紹介されているような「家族みたいに温かい会社」があるんだってことを知れてすごく希望が出てきた(笑)。こんな会社で働きたいね。

